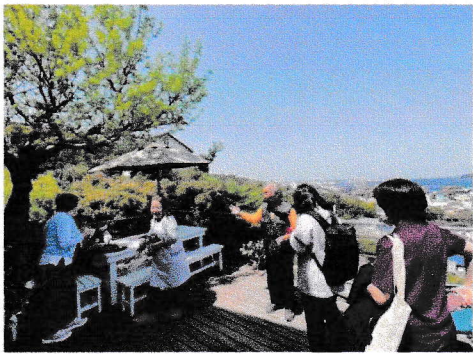


大津支え協は、皆さんがいくつになっても住み慣れた町で、生き生きと生活をしていくことを目的に、生活支援サービスや通いの場(サロン等)を通じて高齢者の社会参加の促進を目指します。

地域で助け合い活動を行っている方々の「思い」「きっかけ」をお聞きしました。まだ、私たちには出来ることがあるのではないかと！ 私たちは地域の資源です。小さくても出来ることで、活動に参加してみませんか？

「出来ることを出来る人が」 — 上杉さん(東映団地福祉サポーター代表) —



福祉に目が向いたのは、東日本大震災や農家でのボランティア、東映団地の方が今まで出来ていたことが出来なくなることが増えてきたこと等がきっかけでした。

大げさな事ではなくお互いが助け合える地域・福祉の風土づくりをし「互助」の精神で少し助けよう、「ちょっと出来ることを出来る人がやれば良い」と思い、一緒に活動してくれそうな方に声を掛けて東映団地福祉サポーターを立ち上げました。

「社会や人との繋がりを大事に」

— 徳弘さん(大津地区ボラセン 登録ボラ 池田町在住) —

80歳を過ぎて独り暮らしとなり今まで以上に地域社会や人との繋がりを大事に続けていきたいと思っています。

今まで学んできた生涯学習プログラムの内容をツールとして地域社会でのお役に立てればと、緩和ケア(ホスピス)での話し相手、切り絵、昭和の懐かしい映像を見ながら回想法による脳の活性化に役立つボランティア活動を続けています。





大津地域では、ご近所どうしの「支え合い」や  
「通いの場」の活動をする団体が広がっています。

大津シーハイツ・サポートクラブ、桜が丘東映・福祉サポーター、  
馬堀海岸4丁目助け合いの会、シーハイツ(馬堀海岸1丁目)助け合いクラブ、  
コーポ湘南大津サポートの会、馬堀台団地お助け隊  
馬一お手伝い会、CMKお助け隊(根岸町) [順不同]



高齢者や足の不自由な方には、車椅子でサポート  
会費の援助も立派なボランティア

最近はゴミ出しの要望が増えてきている



希望者に「独居カード」を渡して安否確認など  
人との繋がりを考えた取り組み

メンバーからの提案で、フレイル予防を  
兼ねた散歩の会やパターゴルフを実施



老人会で助け合いが必要と提案し、町内会で支援  
部会を作り活動。枝切り、除草の依頼が多い

でも、お悩みもあるようです。

- ・サポーターも高齢化し、大変になってきた
- ・少しでも若い人が増えるといいな

